

【医学科】 卒業生進路アンケート 集計結果

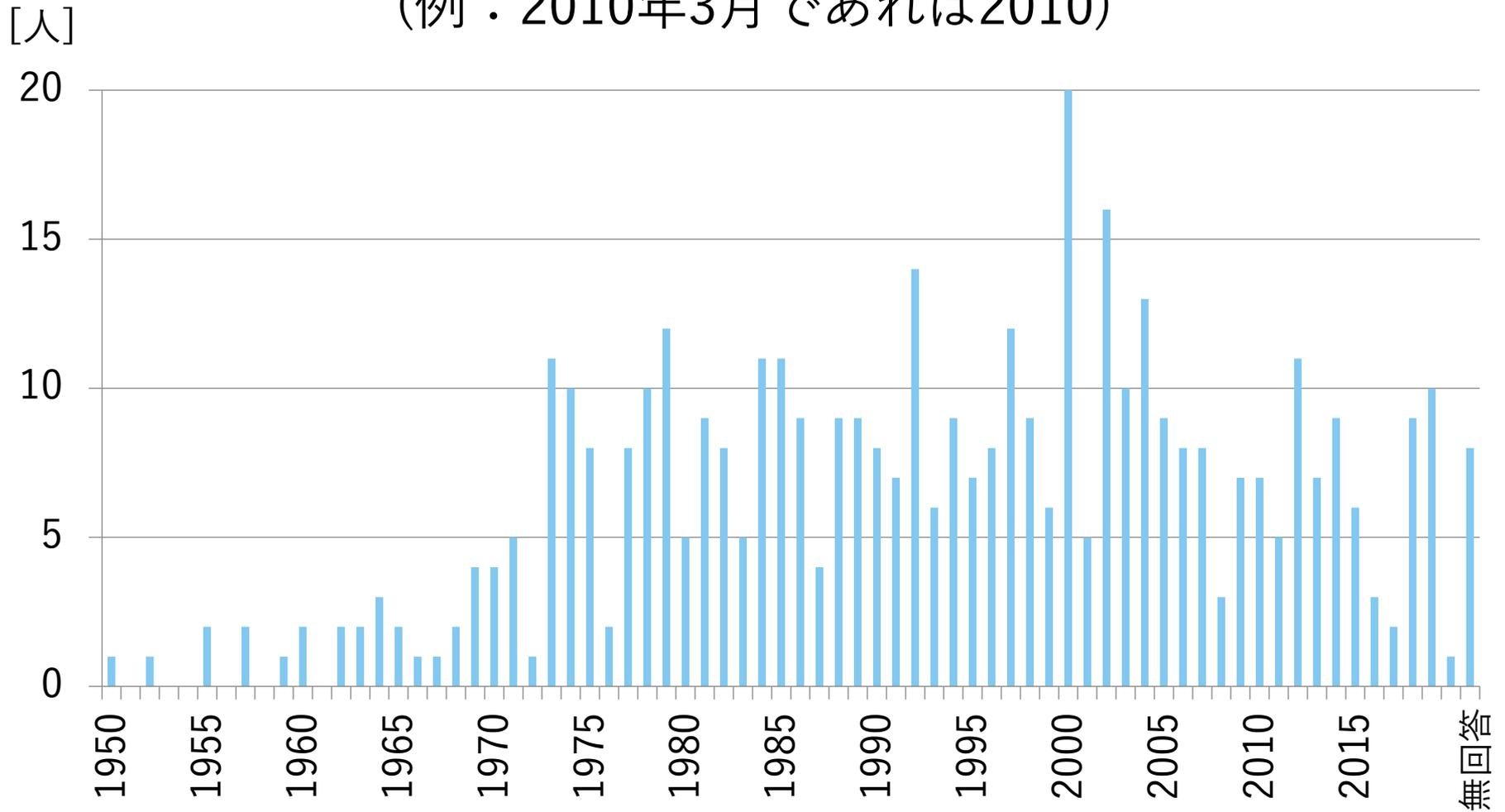
2019年度実施分

(回答者440名/同窓会報発送数4489件)

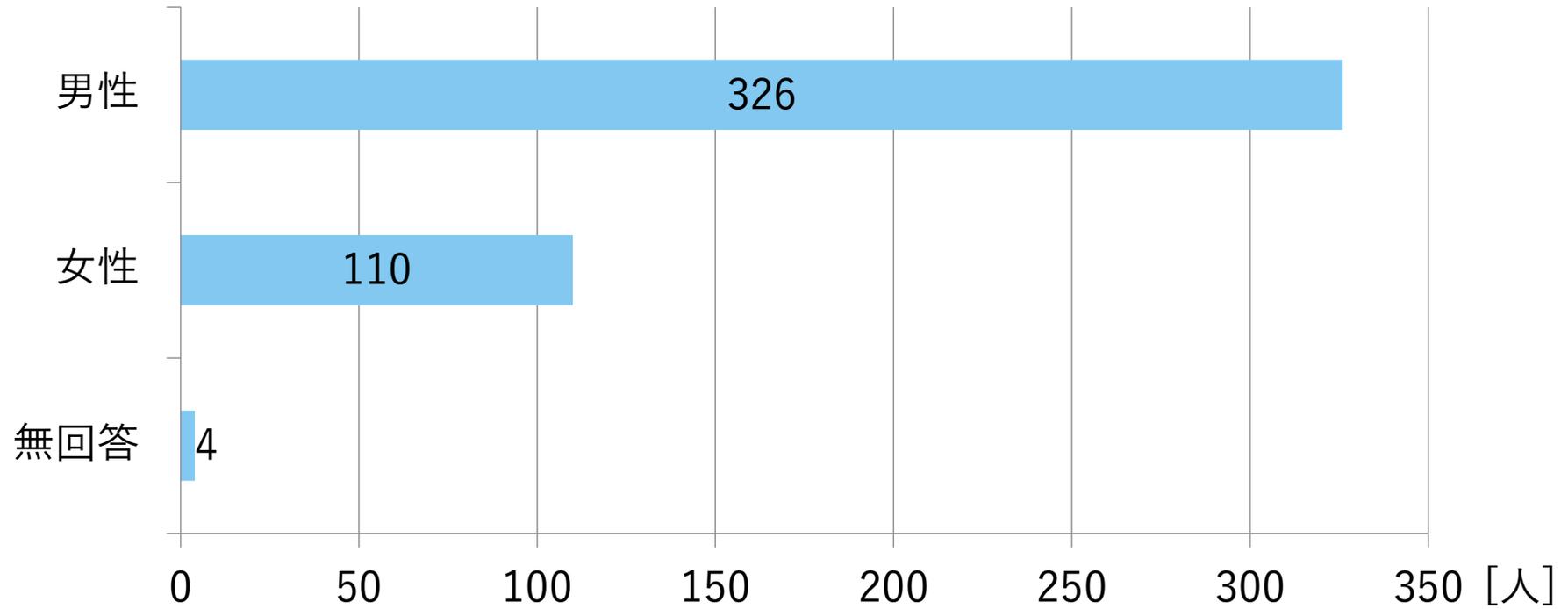
統合教育機構 教学IRチーム

学部卒業年

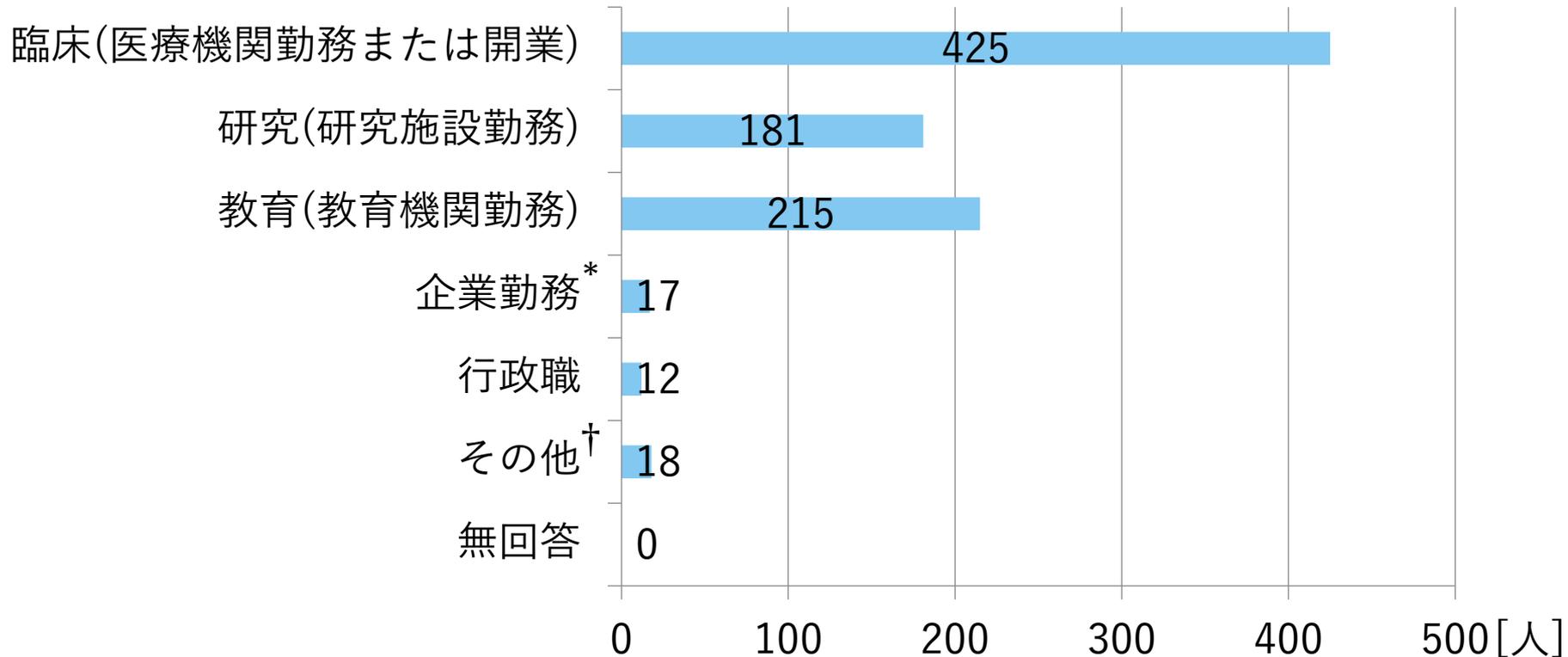
(例：2010年3月であれば2010)



性別



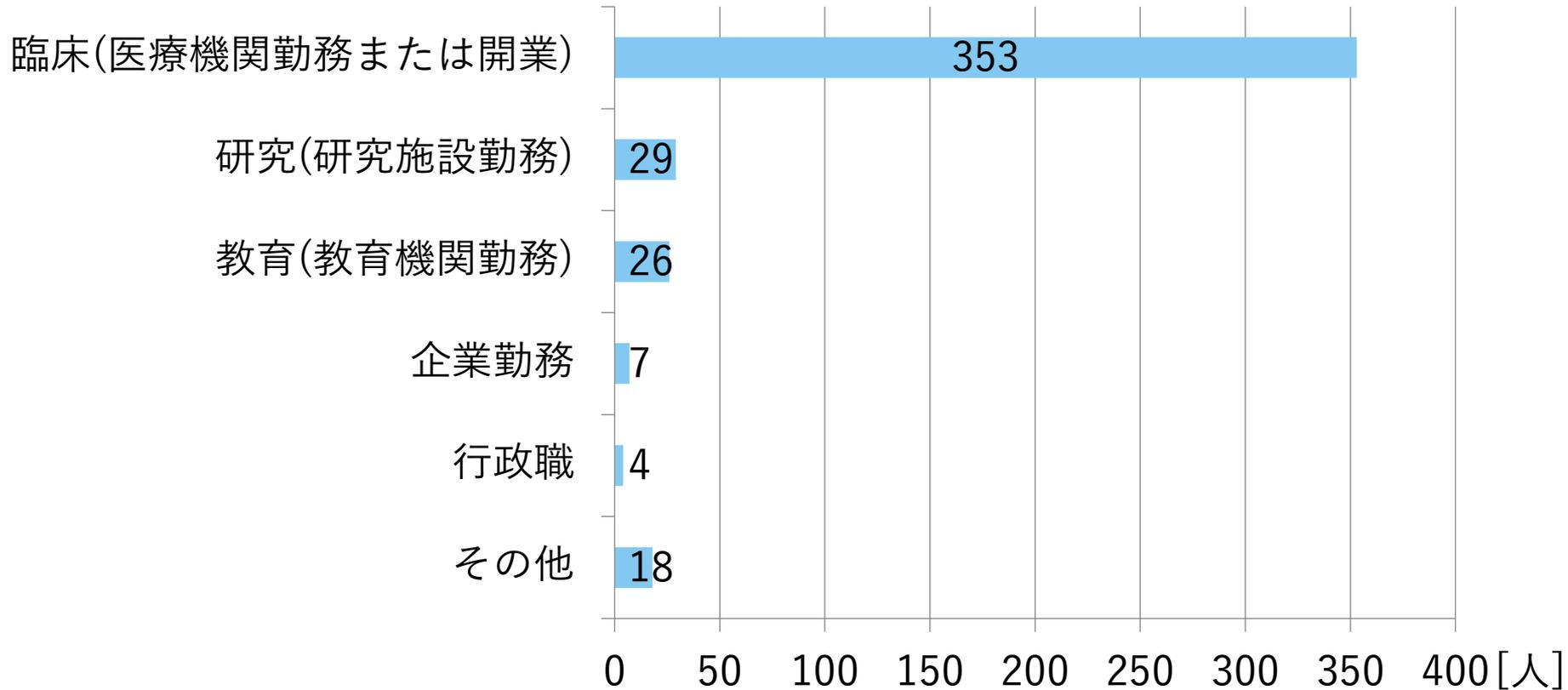
学部卒業以降,携わっていた時期のあるもの [複数選択可]



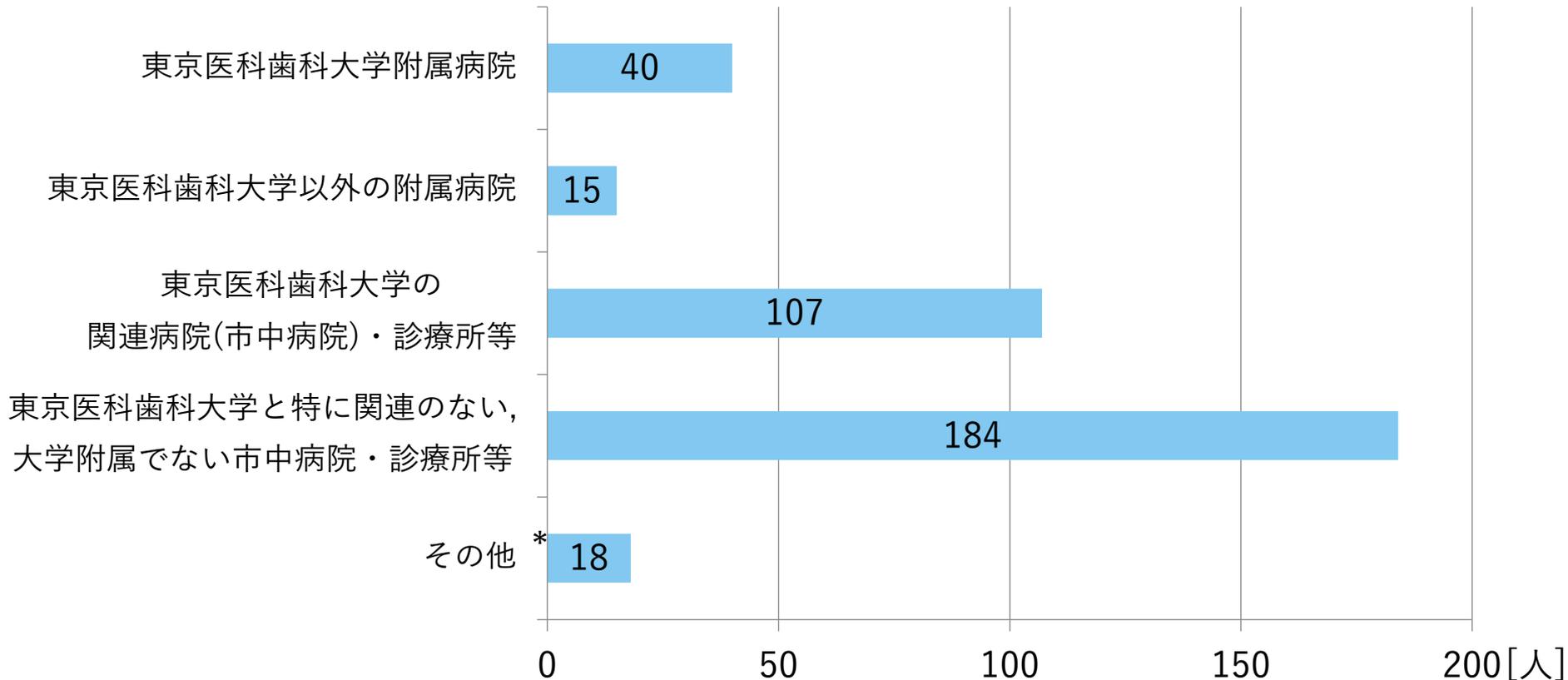
*臨床業務が主の場合は臨床のみを, 研究業務が主の場合は研究のみを選択

†その他を選んだ人の自由記載内容例: 大学院等

学部卒業以降,携わったもので 現在最も携わっていると自分が思うもの



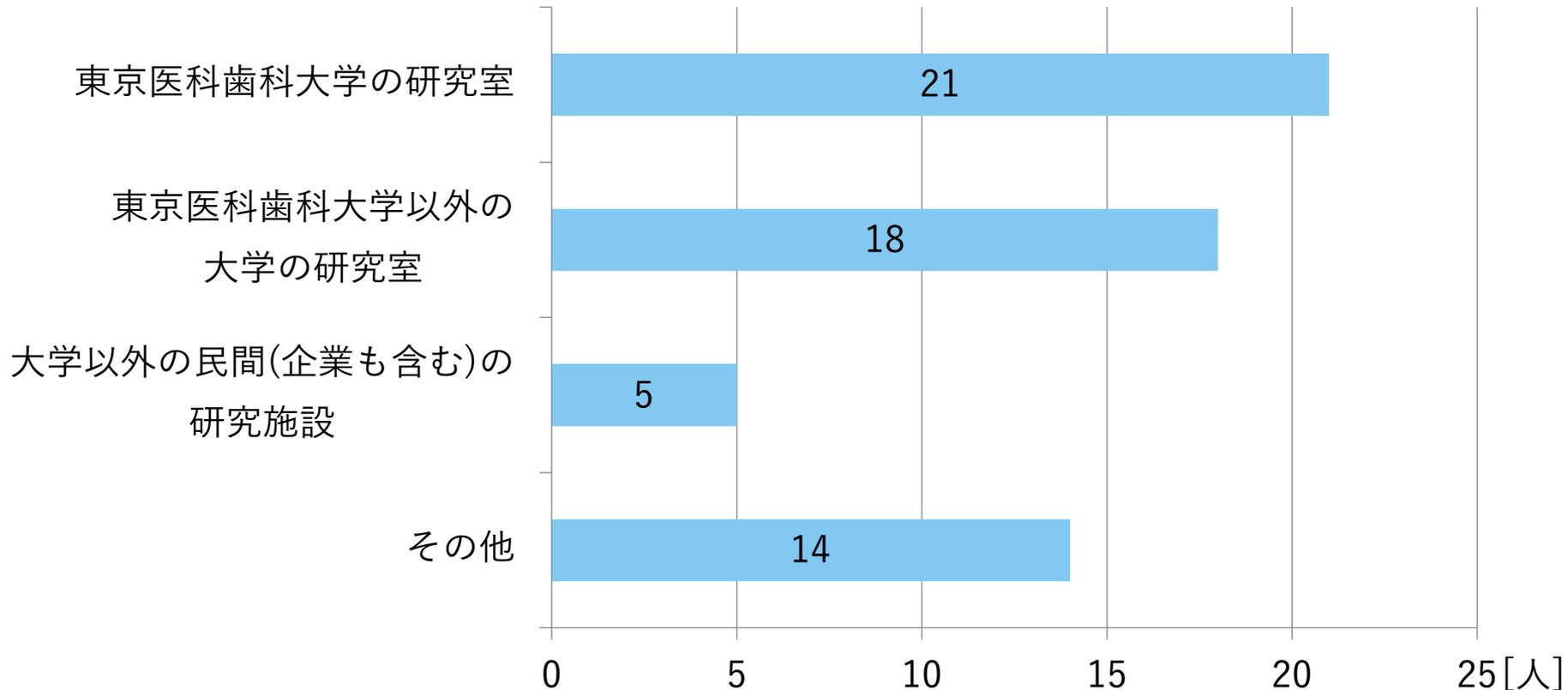
現在臨床に最も携わっていると選択した方で、
現在主に勤務している医療機関につき最も近いと思うもの



(本来設問の該当者でなく回答した方がいる)

*その他を選んだ人の自由記載内容例：開業等

現在研究に最も携わっていると選択した方で、
現在主に勤務している研究施設につき最も近いと思うもの

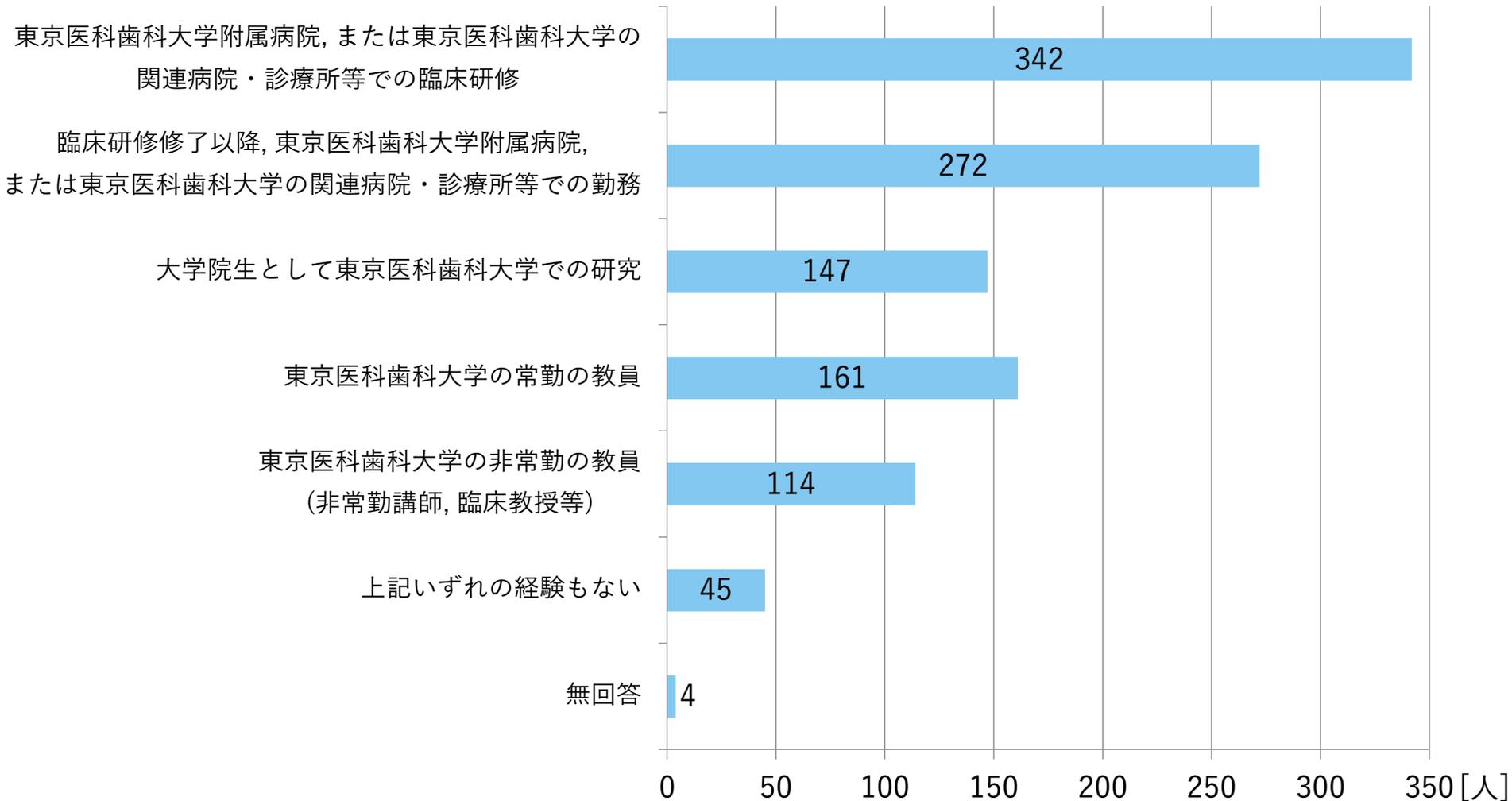


(本来設問の該当者でなく回答した方がいる)

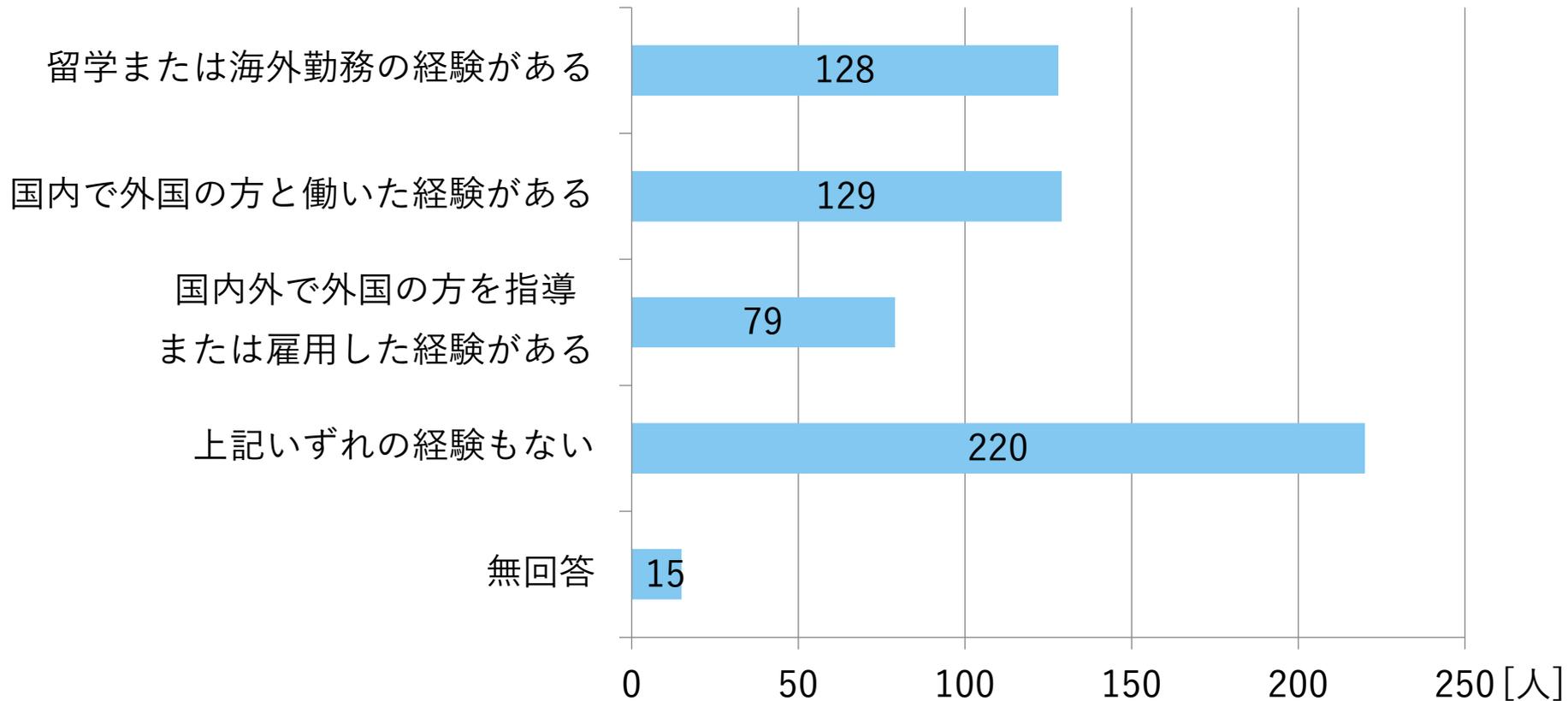
*その他を選んだ人の自由記載内容例：大学以外の公的機関の研究室, 引退後等

学部卒業以降の東京医科歯科大学に関連した在籍経験

[複数選択可]

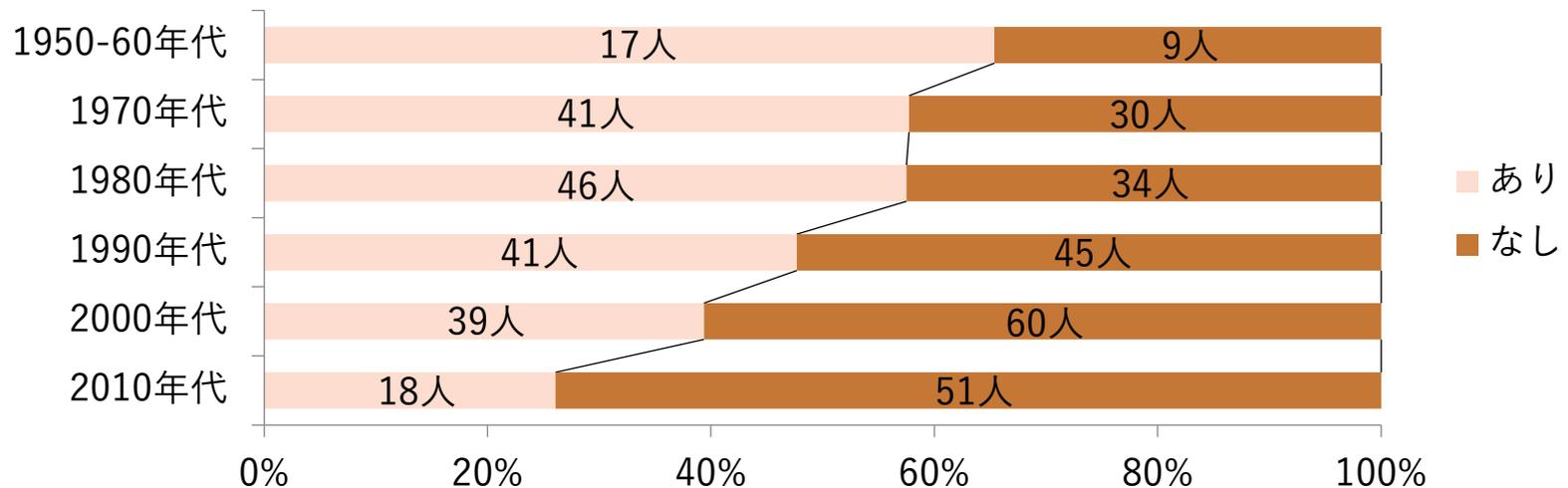


学部卒業以降、国際交流で経験のあるもの [複数選択可]



国際交流経験の有無－卒業年代との関係

	あり	なし	合計
1950-60年代	65% (17人)	35% (9人)	100% (26人)
1970年代	58% (41人)	42% (30人)	100% (71人)
1980年代	58% (46人)	43% (34人)	100% (80人)
1990年代	48% (41人)	52% (45人)	100% (86人)
2000年代	39% (39人)	61% (60人)	100% (99人)
2010年代	26% (18人)	74% (51人)	100% (69人)
合計	47% (202人)	53% (229人)	100% (431人)



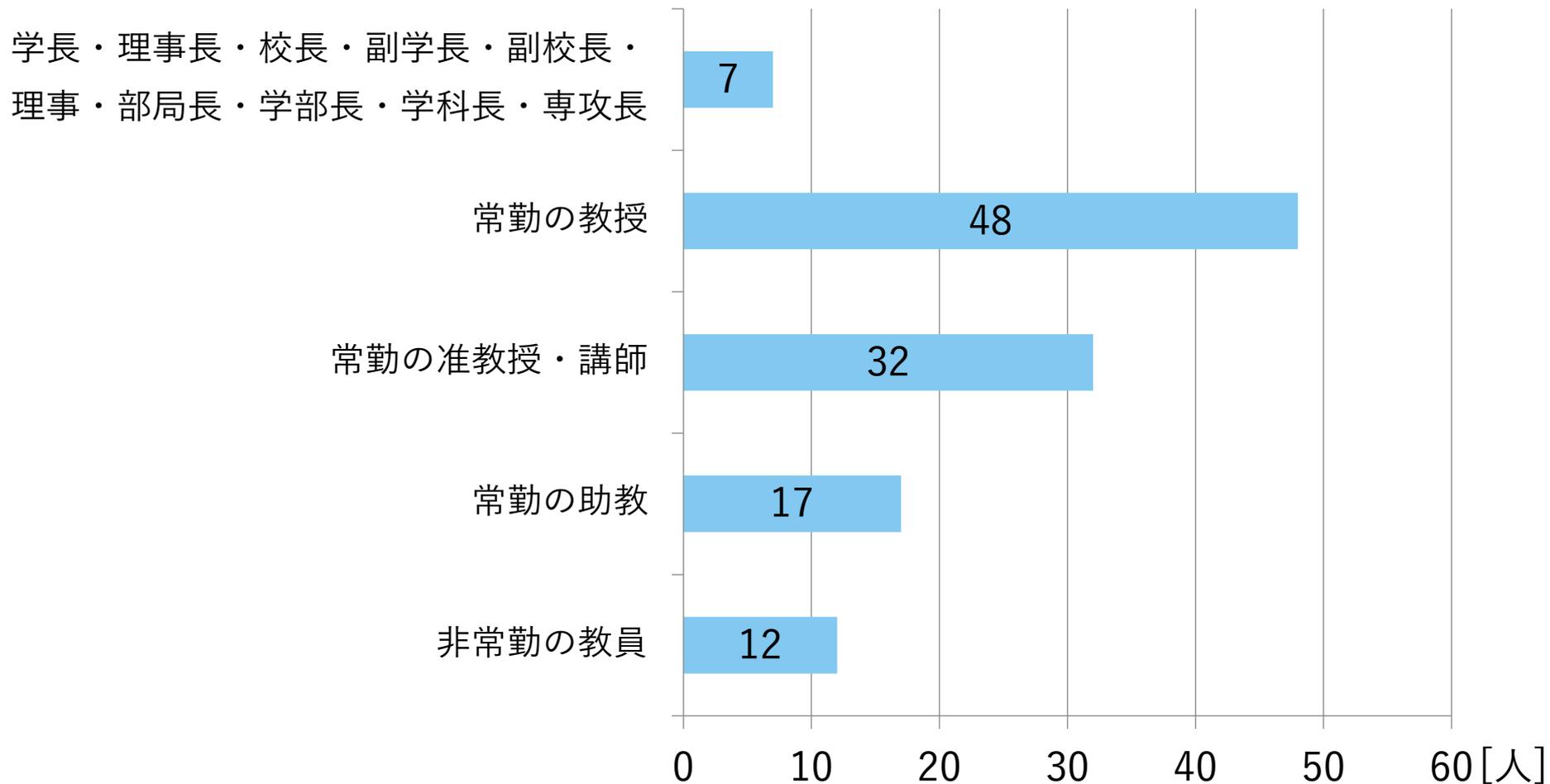
(当該設問に無回答だった場合は集計に含めていない)

役職関連の集計

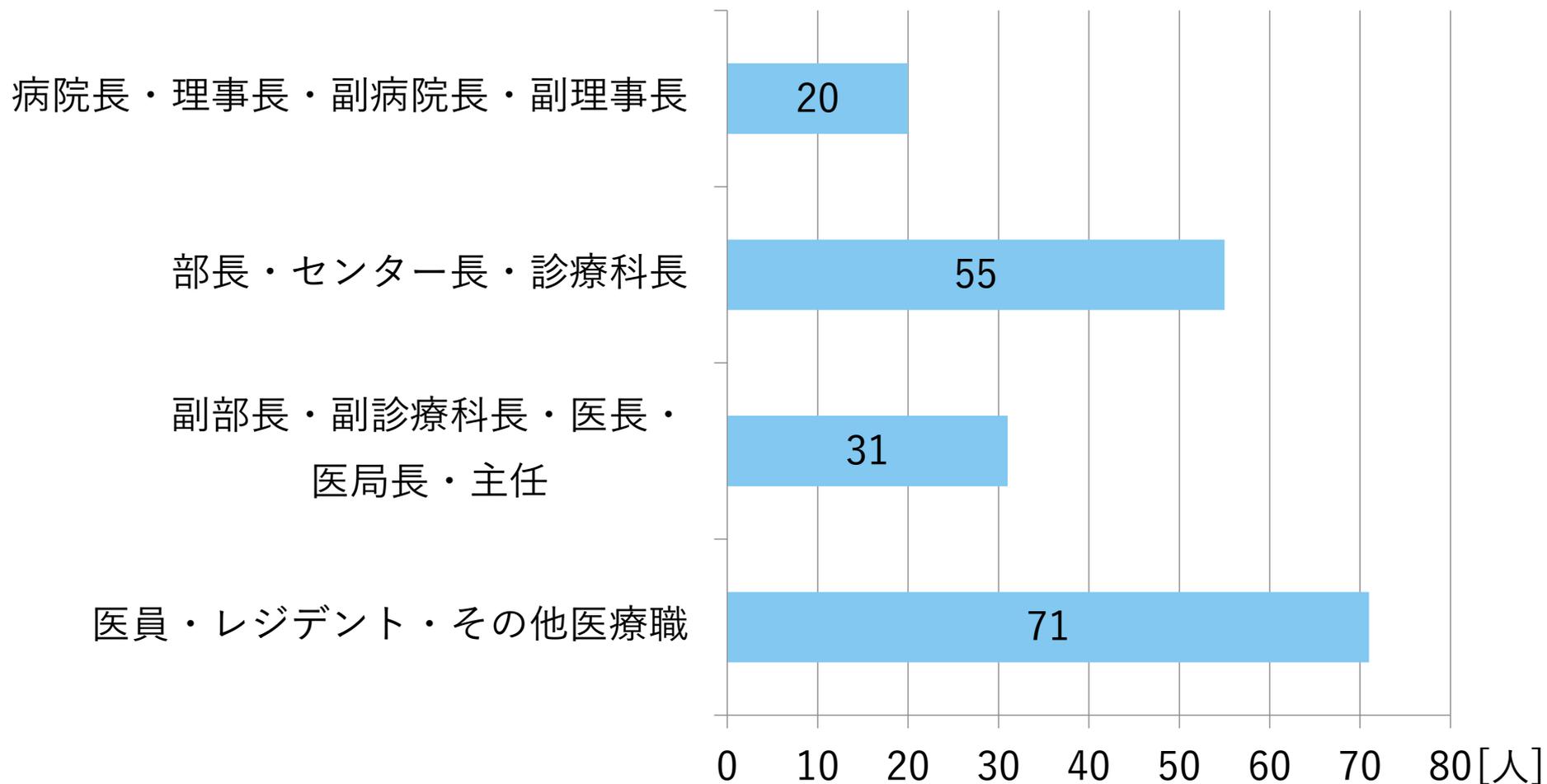
- ・以降の役職関連の集計は、これまでの多肢選択式の質問と異なり、「現在の役職名(医師会・学会・同窓会等における役職も含む)を『全て』ご記入ください。」という自由記述式質問*への回答を集計対象としています。
- ・多様な回答データを集計するために、比較的頻度の高かった回答や典型的な回答を分類するためのカテゴリーをデータ取得後に設定し、各カテゴリーに該当すると特定/推定できる回答を記入していた人数をカウントした結果をまとめています。
- ・上記質問文で回答の仕方を詳細に規定しなかったこともあり、どのカテゴリーに該当するかを特定/推定するのが困難だった回答も複数あります。
このため、全ての回答を厳密に集計したものではなく、結果は概算の参考値となります。

* 初めての調査であったため、全体像把握のために敢えて事前に選択肢を設定しませんでした。

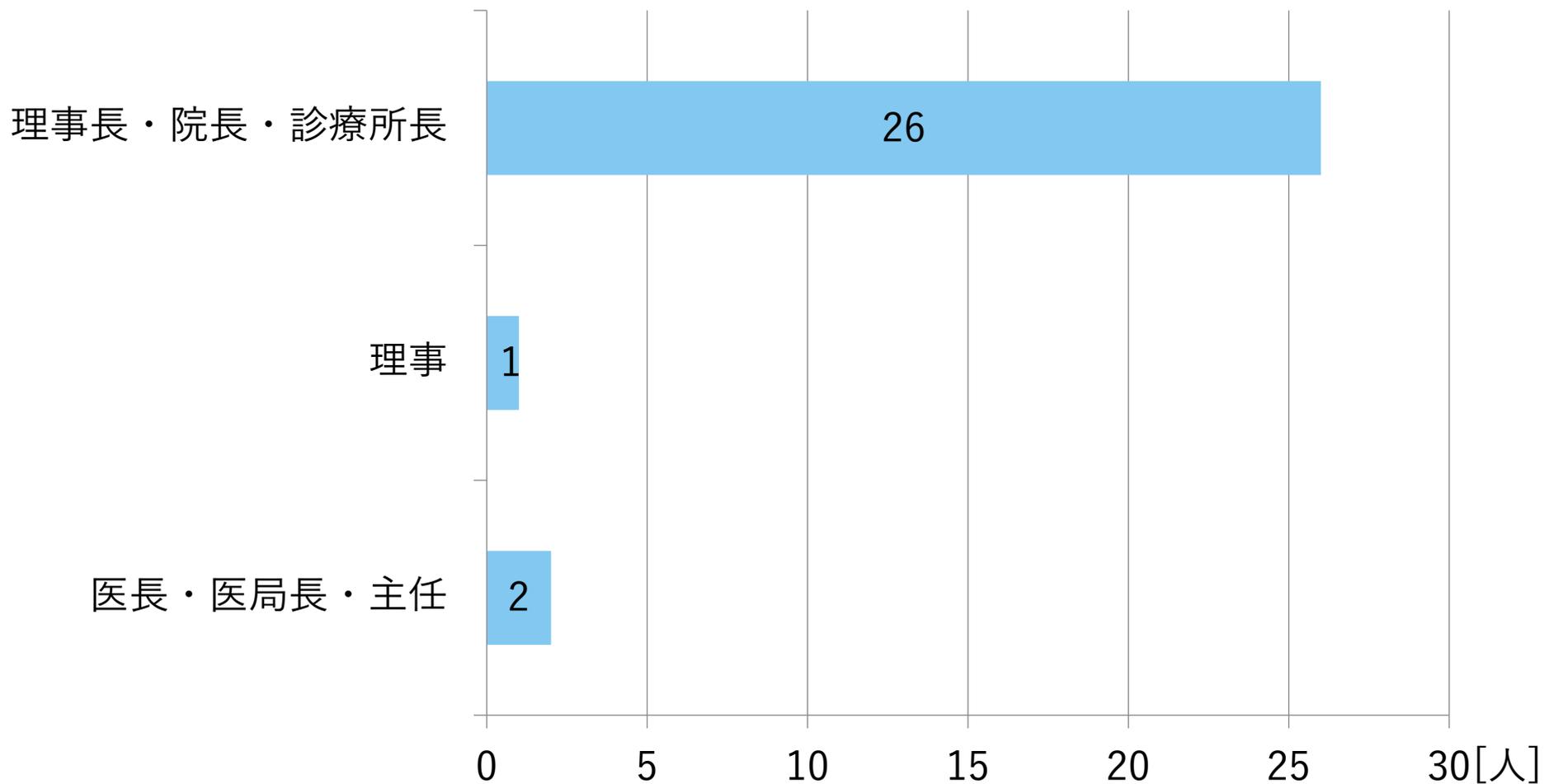
教育・研究機関



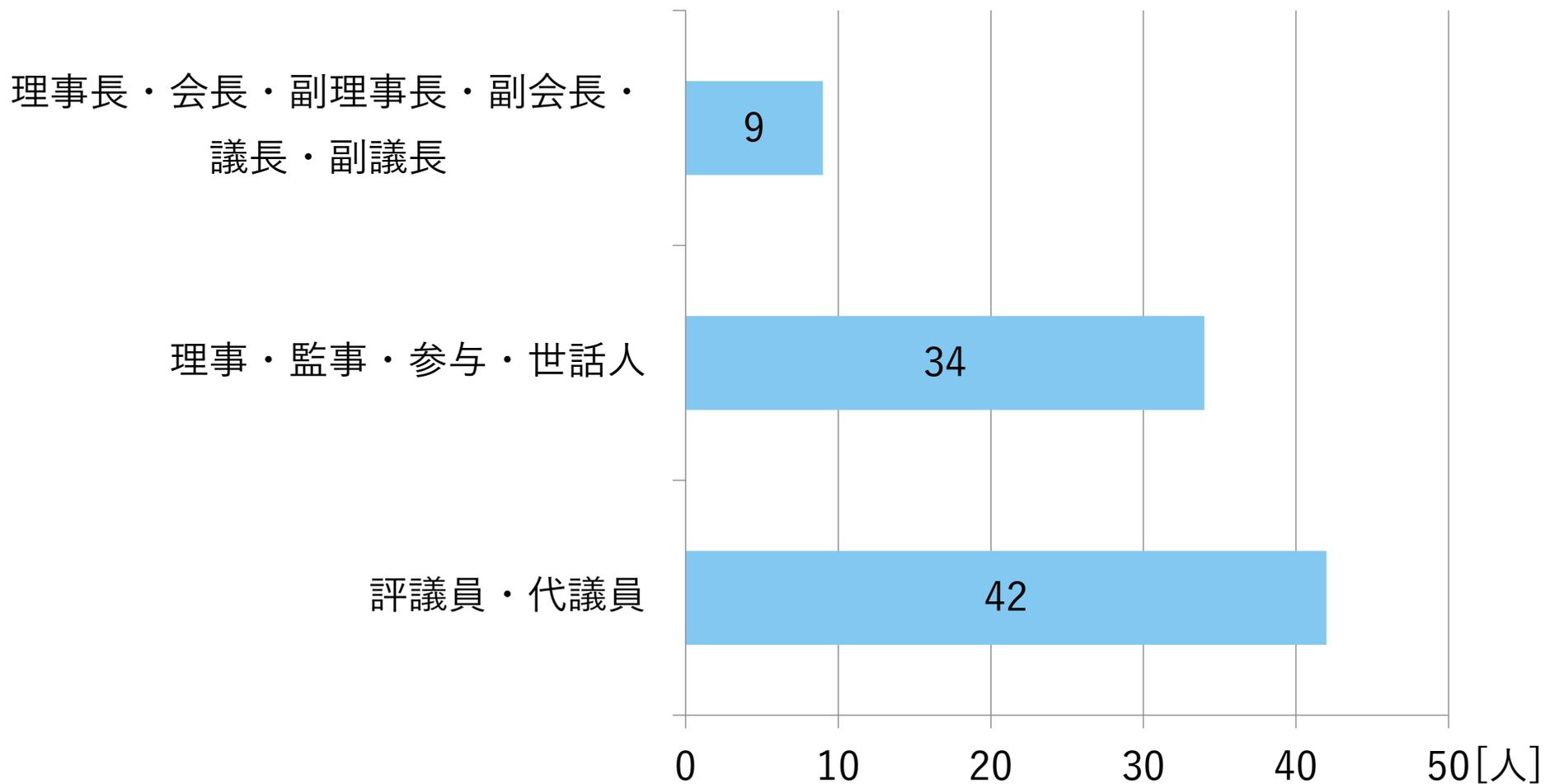
病院



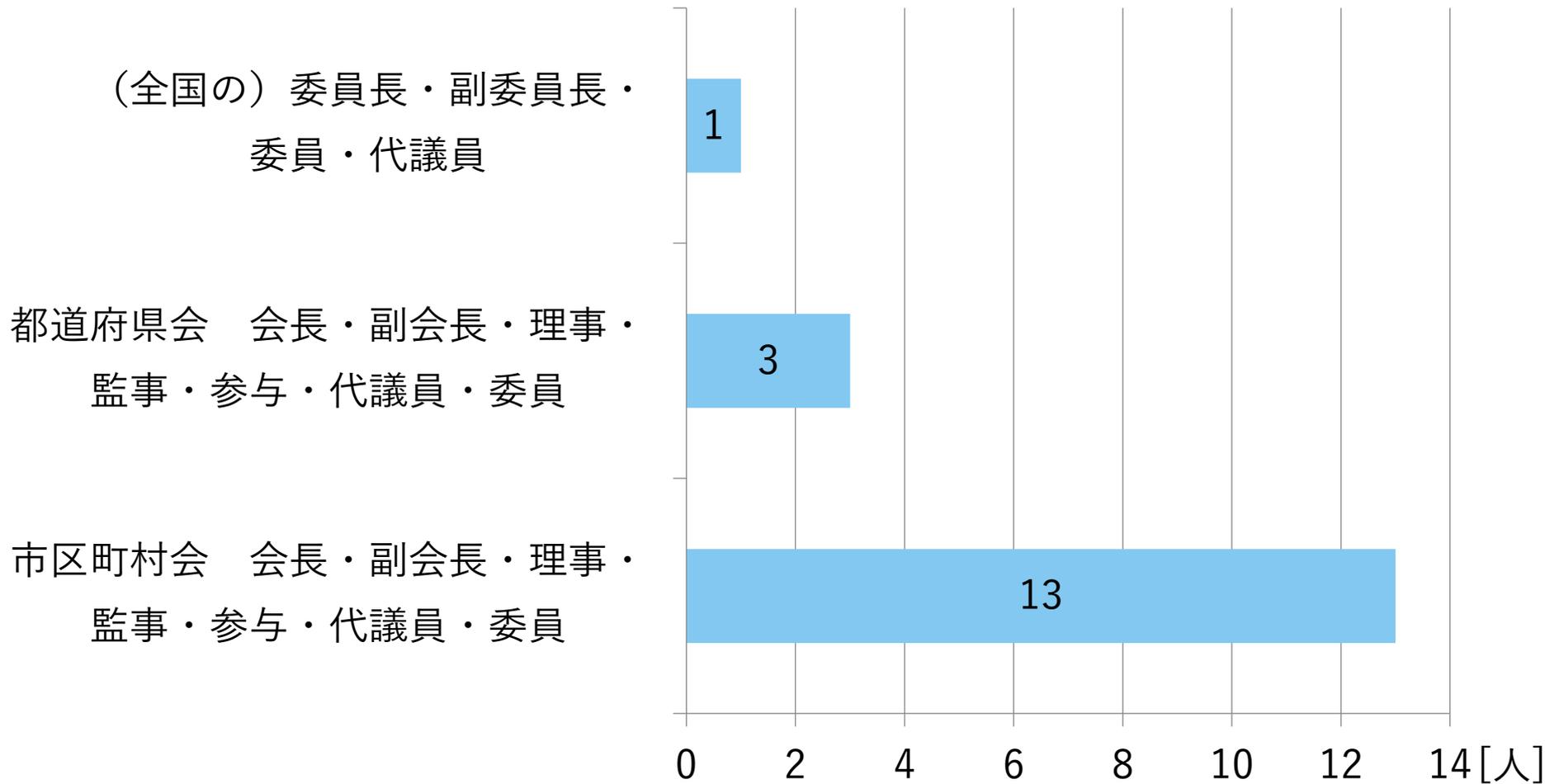
診療所



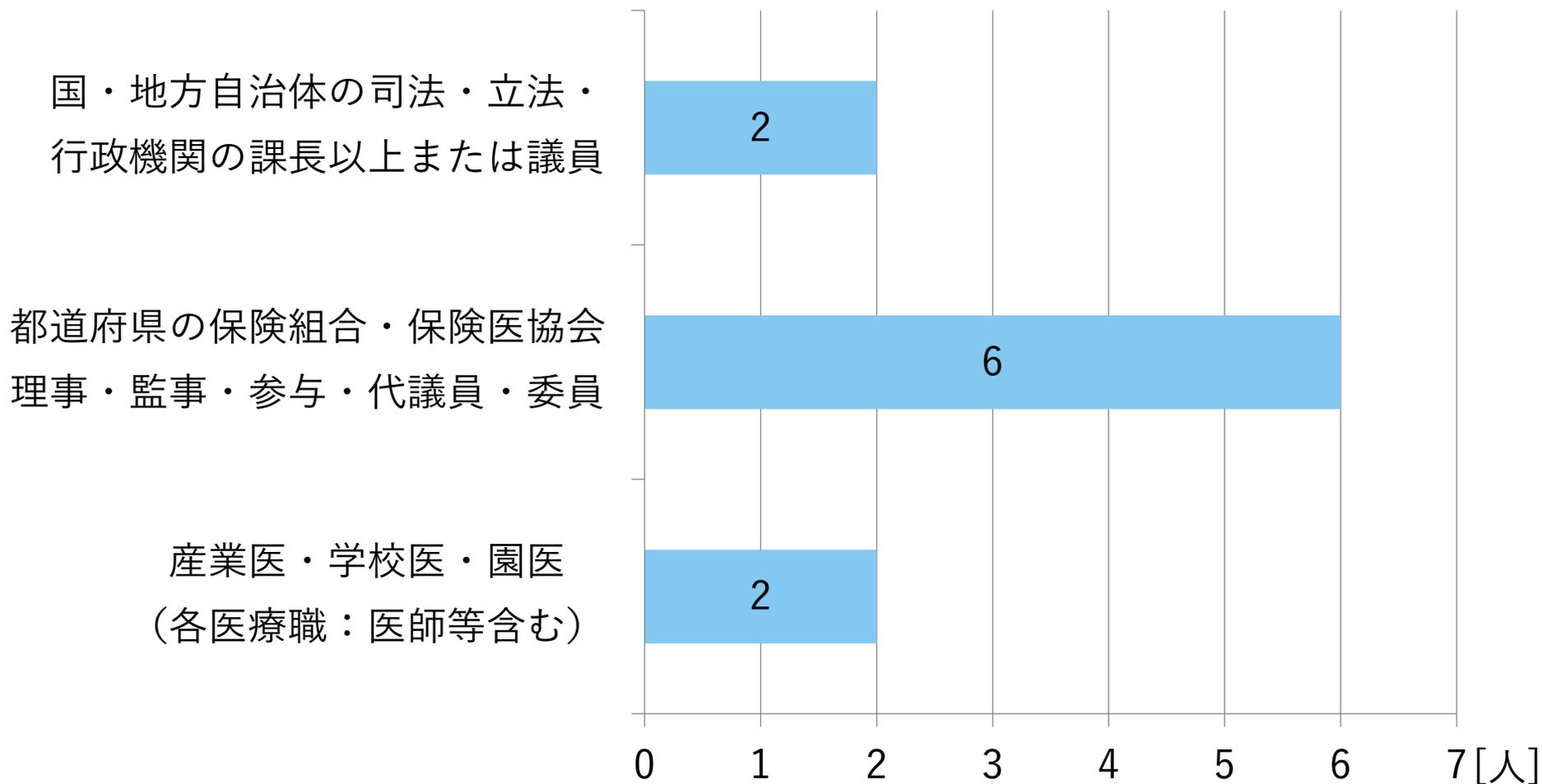
学協会・公益団体等



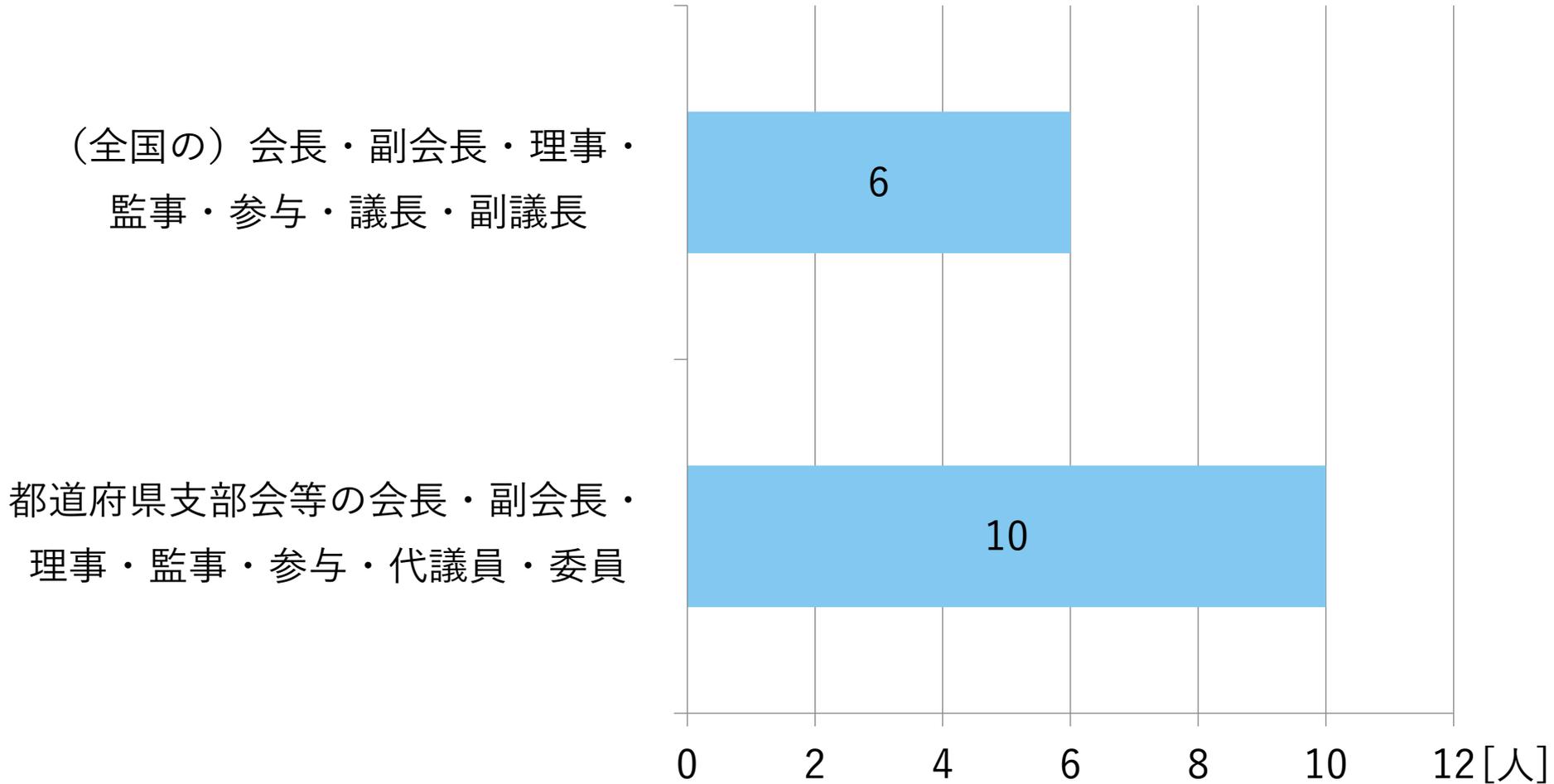
医師会等（連盟含む）



行政・保健所・保険組合等

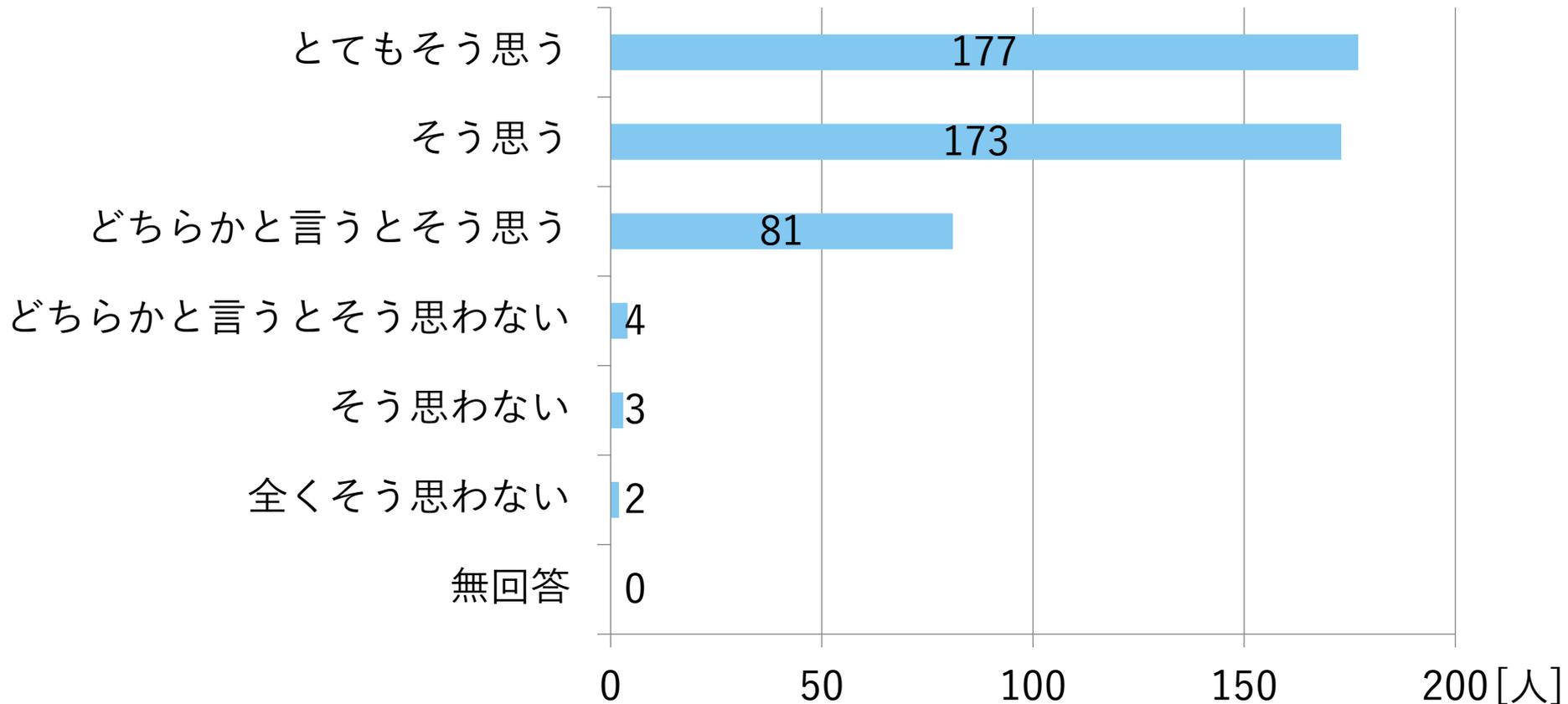


同窓会



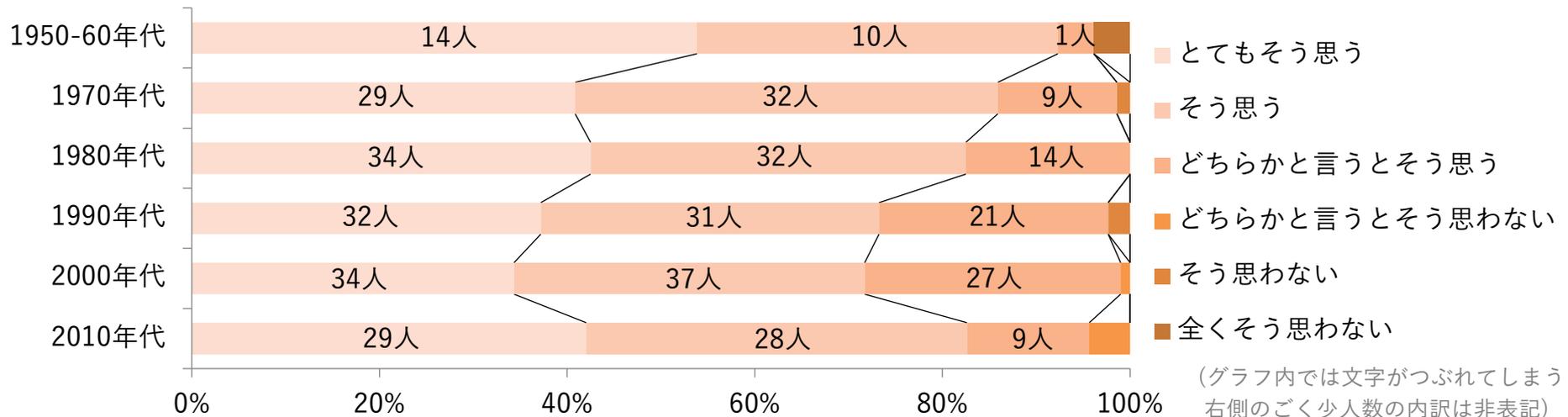
役職関連の集計はここまでとなります。

現在までを振り返って、東京医科歯科大学を 卒業して良かったと思うか



現在までを振り返って、東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うか－卒業年代との関係

	とても そう思う	そう思う	どちらかと言うと そう思う	どちらかと言うと そう思わない	そう思わない	全く そう思わない	合計
1950-60年代	54% (14人)	38% (10人)	4% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	4% (1人)	100% (26人)
1970年代	41% (29人)	45% (32人)	13% (9人)	0% (0人)	1% (1人)	0% (0人)	100% (71人)
1980年代	43% (34人)	40% (32人)	18% (14人)	0% (0人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (80人)
1990年代	37% (32人)	36% (31人)	24% (21人)	0% (0人)	2% (2人)	0% (0人)	100% (86人)
2000年代	34% (34人)	37% (37人)	27% (27人)	1% (1人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (99人)
2010年代	42% (29人)	41% (28人)	13% (9人)	4% (3人)	0% (0人)	0% (0人)	100% (69人)
合計	40% (172人)	39% (170人)	19% (81人)	1% (4人)	1% (3人)	0% (1人)	100% (431人)



(当該設問に無回答だった場合は集計に含めていない)

東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うかについての理由 (肯定的回答選択者からの内容抜粋①)

- 教育レベルが高く卒業後の能力につながり、同期のレベルが高いため卒業後の縦と横のいずれの繋がりも貴重だと感じます。
- 学生時代の講義・学習・経験等現在に至るまで臨床の役に立っており、まさに自分の仕事の血となり骨となっているから。
- 学生時代の教育レベル, 実習レベルがいずれも高いこと。
そして先輩同期の個性的で高いポテンシャルの素晴らしい人材に囲まれていたこと。そして卒後の臨床でも医科歯科関連病院の先生方はレベルが高いこと。
- 関連病院で世界的水準の臨床経験を積むことができた。

東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うかについての理由 (肯定的回答選択者からの内容抜粋②)

- 「誇り」となって地方に身を置く自分を支えてくれている。
- 本学から縁遠い職域や地域で勤務してきましたが、これまでの経験上、本学卒業生であることで社会的信用を一定得られてきた側面は大きいと感じています。同期を含む卒業生の先生方や本学の活躍・発展は本当に素晴らしく、本学卒業生であることで逆に自身の至らなさをも痛感しています。
- 生涯の友人達に出会い、生涯の恩師達に出会いました。天職とも思える、人助け出来る医師という職業にならせていただきました。医科歯科大のおかげで、現在の自分があります。感謝してもしきれません。これから恩返ししたいです。

東京医科歯科大学を卒業して良かったと思うかについての理由 (否定的回答選択者からの内容抜粋)

- 特に関わりがない.
- この大学は自分にとってあまり合わなかった.
- 現在, なんのメリットも感じていない.
- あまり大学が人を大事にしていないように感じられてきたためです.

集計結果のまとめ(1)

- ・ 卒後間もなくから卒後50年超にまで及ぶ、幅広い層から回答が得られました。
- ・ 回答者の性別構成は、男性：女性が約3：1でした。
- ・ 現在までの就業経験として、臨床は97%、研究は41%、教育は49%、企業は4%、行政は3%の回答者が経験していました。
- ・ 現在の就業状況としては、臨床が80%、研究が7%、教育が6%、企業が2%、行政が1%を占めていました。

集計結果のまとめ(2)

- ・ 臨床で現在主に勤務しているのが東京医科歯科大学の附属病院または関連のある医療機関である人は、アンケート全回答者の33%でした。
- ・ 研究で現在主に勤務しているのが東京医科歯科大学の研究室である人は、アンケート全回答者の5%でした。
- ・ 東京医科歯科大学と関連した在籍経験を有する人は、回答者の90%でした。
- ・ 国際交流の経験がある人は、回答者の50%でした。
幅広い卒業年代の回答者が国際交流の経験を有しており、経年的に国際交流の経験が増える傾向が示唆されました。

集計結果のまとめ(3)

- ・ 役職も含めた各集計結果から、本学卒業生が各界で幅広く活躍していることが示唆されました。
- ・ 本学の卒業を肯定的に捉えている人は、回答者の98%でした。また、幅広い卒業年代の回答者が本学卒業を肯定的に捉えていることが示唆されました。肯定の理由としては、教育や実習のレベルが高いこと、友人や先輩に恵まれたこと、関連病院の水準が高いこと等が挙げられていました。